



ザンビアの経済概況・月報(2018年2月)

主なマクロ経済指標	2017年	2018年
1. 人口 (百万人)	16.59(2016)	-
2. 人口増加率 (%)	3.00(2016)	-
3. 失業率 (%)	7.4(2014)	-
4. 平均寿命 (年齢)	51.1(男性)/54.4(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	21,064(2016)	-
6. GDP成長率 (%)	4.2(proj)	4.5(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,360(2016)	-
8. インフレ率 (%)	6.1(Dec)	6.1(Feb)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	201.18(Dec)	204.91(Feb)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-669.34*2	-661.05*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-22.90*4(2016)	10.82*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	6,436.31*2	8,305.57*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	24.13*4(2016)	41.07*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	7,105.64*2	8,966.73*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	47.03*4(2016)	30.25*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-932(2016)	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	37 (2016)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	469(2016)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,430(Dec)	2,430(Dec 2017)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	7,900(Dec)	7,900(Dec 2017)
21. 為替レート (対米ドル)	9.53ZMW	9.79ZMW(Feb)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	10.25 (Dec)	9.75 (Feb)

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1	GDP at market prices (Current USD)
*2	2018年1月の貿易額。1USD=9.86ZMW (2018年1月のザンビア中央銀行為替相場月平均)を用いて換算
*3	2018年1月の貿易額。1USD=113円(2018年1月の日銀基準外国為替相場月平均)を用いて換算
<2018年1月>	
主要輸出品目: 銅/硫酸/発煙硫酸/コバルトの酸化物及びコバルトの水酸化物	
主要貿易相手国(輸出): スイス 43.9%, 中国 14.5%, コンゴ(民) 7.0%, シンガポール 5.6%, インド 3.2%, その他 25.8%	
主要輸入品目: コバルトの酸化物及びコバルトの水酸化物/精製銅と硫化物/尿素/車両部品/軽油	
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 21.5%, コンゴ(民) 20.4%, 中国 13.9%, アラブ首長国連邦 5.6%, インド 4.6%, その他 24.0%	
*4	1USD=111円(2016年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典>	
1, 2, 5-7, 20: World Bank/3: Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO& Ministry of Labour and Social Security)/4, 16: The World Factbook (CIA) /8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report/19, 21(2016); Country Report (EIU) /11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計/17, 18: UNCTAD/21(2017), 22: Bank of Zambia	

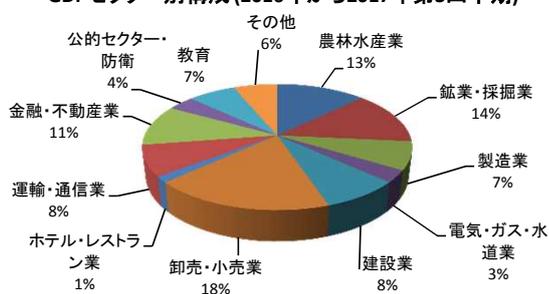
<ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
4-6%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPセクター別構成 (2016年から2017年第3四半期)



(出典: ザンビア中央統計局)

主要な経済ニュース(2月)

1. 政府は商業借入を停止 (Daily Mail, 1日)

ムタティ財務大臣は、赤字及び累積債務の削減を図るために、内閣が商業借入の停止を決議したと述べた。また、この決定は、財政再建、政策の信認回復及び債務上限設定に対する、政府のコミットメントの表れであると発言した。

2. 経済は成長している - 財務大臣発言 (Daily Mail, 4日)

政府は、2017年に実施された改革により、経済が強化され始めていると発言した。ムタティ財務大臣は、「GDPは成長しており、外国為替は安定を実現しており、6-8%台で安定を見せているインフレ率は、ザンビア中銀が法定準備率及び政策金利を引き下げることを可能にしており、7%(当館注: GDP比)を予想していた財政赤字は、6.1%に留まっている」と発言した。

3. 52億クワチャの予算配分が公表される (Daily Nation, 6日)

財務省は先月、5.2億クワチャの予算配分を公表し、16億クワチャが公務員の報酬に割り当てられ、18億クワチャが債務返済に充当され、10億クワチャが補助金、そして8億クワチャがその他のプログラムに充当されると明かした。ムタティ財務大臣は、財政状況を明らかにすることにより、政府により実施されているプロジェクトに関心を持ち、経済改革プログラムに国民が参加することを望んでいると述べた。

4. 財務省がザンビアの債務に関する報告書を年4回発表する (Daily Nation, 6日)

チクバ財務次官は、政府が国民に向けて、ザンビアの債務状況に関する報告書を、年4回発表することを明らかにした。また、チクバ財務次官は、「異なる負債額が引用されていることに対して、政府は懸念を示している。国民が債務状況について情報を持たない事態を避けるため、財務省は今回の決定に至った」と発言した。

5. ザンビアの経済政策を活用 (Daily Mail, 8日)

日本貿易振興機構(JETRO)が、日本の投資家に対して、ザンビアの堅実な経済政策及び政治安定を活用し、農業セクターに投資するように呼びかけた。平野JETRO理事は、「日本企業に対してザンビアでの投資の可能性を模索するよう推奨する原動力となっている、ザンビアの全国的な平和と安定に対して、日本政府は感謝している」と発言した。

6. 政府は、補助金を貨幣形態で受け取ることを停止 (Daily Mail, 14日)

政府は、予算執行の責任を向上させるため、補助金の受け取り方法を、貨幣形態から、プロジェクトベースシステムに移行させた。ムタティ財務大臣は、ドナーが国家予算を対象として金銭援助を行うよりも、ドナーにプロジェクト実施を許可する方が、経済成長を達成するための管理及び資源の運営において重要であると感じている。

7. ムワナカトウェ財務大臣は、投資家に対して保証する (Daily Mail, 24日)

新任のムワナカトウェ財務大臣は、国際社会に対し、投資家に自信を失わせることを目的として、ザンビアの政府体制を酷評する政治家を無視するよう呼びかけた。

8. ザンビアは投資において魅力的 (Daily Mail, 26日)

Axis Advisory Limitedは、ザンビアは様々なセクターにおいて、魅力的な投資先の一つになったと述べた。フィリAxis Advisory Limited総括マネージャーは、「パートナーシップは現地企業の成長に繋がる。ザンビアは、農業、エネルギー、鉱業及びその他のセクターを含む、ほぼ全てのセクターにおいて、主要な投資国となっている」と述べた。